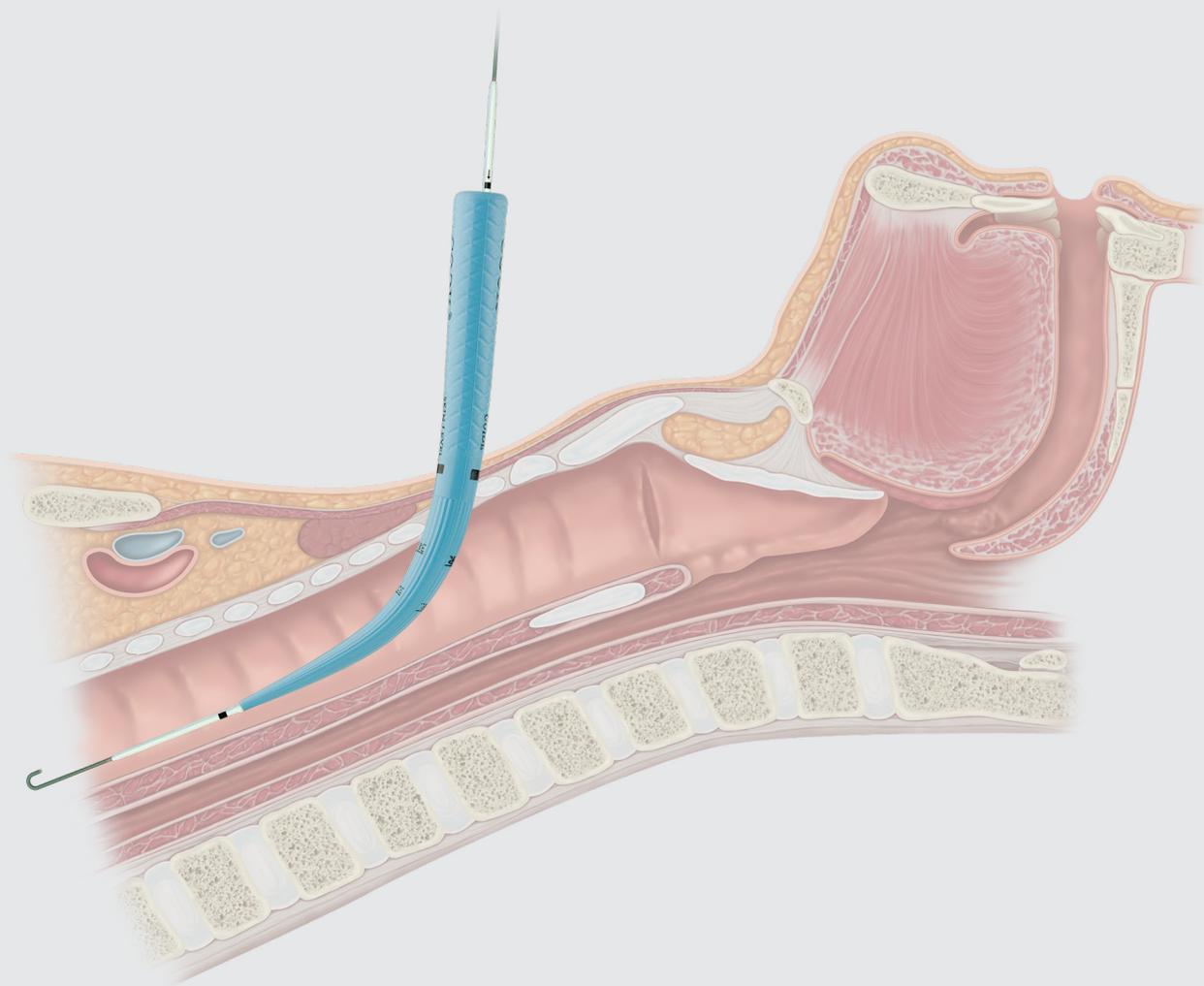


Advance to the next generation of  
percutaneous tracheostomy introducers.



## Ciaglia Blue Rhino® G2

経皮的気管切開用イントロデューサセット

# PDT

## 経皮的気管切開術

### 施術時間を短縮

経皮的気管切開術（PDT）はベッドサイドで実施できるため、患者を手術室へ搬送する必要がなく、診察から気管切開にかかる時間が大幅に短縮されることが立証されています。そのためPDTは、外科的気管切開術と比べて、施術時間の短い術式とされています。<sup>1,2</sup>

### 安全性の向上

ベッドサイドで施術を行えるため、手術室へ搬送する際に起こりうる患者リスクを低減します。さらに、操作性を高めるための独自のデザインを複数採用しています。

### コスト削減

ベッドサイドでのPDTは、医療機関にかかるコストの削減につながります。<sup>3,4,5</sup>



#### Step 1

第一、第二気管軟骨間または第二、第三気管軟骨間を1.5 cm～2.0 cm 横に切開する。（湾曲モスキート鉗子を用いて、皮下組織を縦横に丁寧に剥離する。）切開部位の周囲を触診し、輪状軟骨を確認する。



#### Step 2

生理食塩水入りシリンジを取り付けた15Gの穿刺針またはアウトターシース付ニードルを気管支鏡下で気管の正中線に穿刺する。

**注意：気管後壁を穿刺しないこと。**



### Step 3

穿刺針またはアウターシースから気管内にガイドワイヤを挿入する。



### Step 4

穿刺針またはアウターシースを抜去し、導入用ダイレータをガイドワイヤに沿って進め、プレダイレーションを行う。



### Step 5

Ciaglia Blue Rhino G2 ダイレータの先端を生理食塩水（または滅菌水）に浸し、親水性コーティングを活性化させる。



### Step 6

Ciaglia Blue Rhino G2 ダイレータと白いガイドリングカテーテルをガイドワイヤに被せて、軽くカーブさせながら進める。挿入部位が拡張するように、Ciaglia Blue Rhino G2 ダイレータを前後に数回動かす。「SKIN LEVEL GUIDE」と書かれた黒いマークが皮膚に達するまで、挿入部位を拡張する。白いガイドリングカテーテルとガイドワイヤを残し、Ciaglia Blue Rhino G2 ダイレータを抜去する。



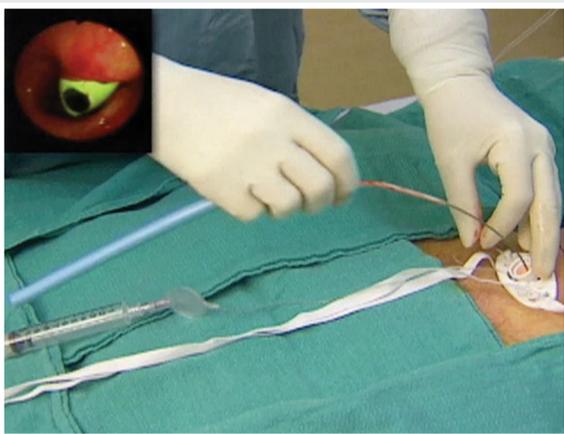
#### Step 7

使用する気管切開チューブの内径に合わせて、適切なサイズの気管切開チューブ用ダイレータを選択する。気管切開チューブ用ダイレータと気管切開チューブの先端がよくフィットしていることを確認する。気管切開チューブ用ダイレータと気管切開チューブ全体を潤滑させる。



#### Step 8

組み合わせた気管切開チューブ用ダイレータと気管切開チューブを白いガイディングカテーテルとガイドワイヤに沿って気管内に挿入する。



#### Step 9

気管切開チューブのみを残して、すべて抜去する。



#### Step 10

気管切開チューブのカフを膨らませて、チューブを固定する。エックス線画像と気管支鏡により、気管切開チューブの位置を確認する。



## セットの構成部品

Ciaglia Blue Rhino G2 経皮的気管切開用ダイレターおよび装着済みガイディングカテーテル

0.052 インチ径ガイドワイヤ (位置決めマーカ付)

気管切開チューブ用ダイレター

穿刺針 (15G、7cm)

アウターシース付ニードル (15G、7cm)

導入用ダイレター (14.0 Fr、4.5 cm)

スカルペル (No. 15) (ディスポーザブル)

シリンジ (ディスポーザブル)

ニードルホルダーカップ

グローバル  
製品番号

カタログ番号

気管切開チューブ用  
ダイレター  
Fr

### カテーテル ファーストタイプ

G56632

C-PTIS-100-HC-JAPAN-G

21.0, 24.0, 26.0

販売名：気道アクセス用デバイス  
承認番号：20300BZY00356000

## 参考文献

1. Friedman Y, Fildes J, Mizock B, et al. Comparison of percutaneous and surgical tracheostomies. *Chest*. 1996;110(2):480-485.
2. Cheng E, Fee WE Jr. Dilatational versus standard tracheostomy: a meta-analysis. *Ann Otol Rhinol Laryngol*. 2000;109(9):803-807.
3. Bowen CP, Whitney LR, Truwit JD, et al. Comparison of safety and cost of percutaneous versus surgical tracheostomy. *Am Surg*. 2001;67(1):54-60.
4. Cobean R, Beals M, Moss C, et al. Percutaneous dilatational tracheostomy. A safe, cost-effective bedside procedure. *Arch Surg*. 1996;131(3):265-271.
5. Freeman BD, Isabella K, Cobb JP, et al. A prospective, randomized study comparing percutaneous with surgical tracheostomy in critically ill patients. *Crit Care Med*. 2001;29(5):926-930.

### 製造販売元

クックメディカルジャパン合同会社  
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1  
中野セントラルパークイースト  
TEL : 03-6853-9470  
[cookmedical.co.jp](http://cookmedical.co.jp)

### Asia Pacific Customer Service

Australia: +61 734346000, [cau.custserv@cookmedical.com](mailto:cau.custserv@cookmedical.com)  
China: +86 2154519599, [chinacssupport@cookmedical.com](mailto:chinacssupport@cookmedical.com)  
Hong Kong: +852 34721688, [cs.cahk@cookmedical.com](mailto:cs.cahk@cookmedical.com)  
India: +91 4426793000, [india.orders@cookmedical.com](mailto:india.orders@cookmedical.com)  
Japan: +81 368539470, [info-japan@cookmedical.com](mailto:info-japan@cookmedical.com)  
Korea: +822 62923500, [kr.orders@cookmedical.com](mailto:kr.orders@cookmedical.com)  
Malaysia: +603 79621688, [cs.malaysia@cookmedical.com](mailto:cs.malaysia@cookmedical.com)  
Singapore: +65 63207678, [cooksea.cs@cookmedical.com](mailto:cooksea.cs@cookmedical.com)  
Taiwan: +866 266283500, [cooktw@cookmedical.com](mailto:cooktw@cookmedical.com)  
Thailand: +662 1688630, [th.orders@cookmedical.com](mailto:th.orders@cookmedical.com)  
SADC: +65 63207600, [sadc\\_cs@cookmedical.com](mailto:sadc_cs@cookmedical.com)  
[cookmedical.com](http://cookmedical.com)



### 販売に関するお問合せ先

株式会社 MEDIK  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町25-7 8F  
TEL : 03-6264-9961 FAX : 03-6264-9962  
Email: [medinfo@medik.co.jp](mailto:medinfo@medik.co.jp)  
[medical.medik.co.jp](http://medical.medik.co.jp)

